令和４年度

学校図書館全体計画

江戸川区立臨海小学校

学校図書館法

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに児童の健全な教養を育成することを目的とする。

読書は子供が自分の将来に夢をもち、自己実現を図っていく上で極めて重要な役割を果たしている。子供が自主的な読書活動を通じて生きる力を育んでいくために、周囲の社会、大人は子供一人一人に対して、多様な読書のきっかけを提供し、様々な分野の本と出会える環境をつくっていくことが大切である。

学校教育目標

◎じょうぶな子

〇思いやりのある子

〇よく考える子

江戸川区読書科

目指す子ども像　主体的に読む子ども
問い続ける子ども

目標　読書における見方・考え方を働かせ、読書を通じた探求的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成する。

（１）読書から生きて働く知識を習得するとともに、資料の収集の仕方、記録の取り方を身に付けることができるようにする。
（２）問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ、表現することができる。
（３）読書及び読書を通じた探求的な学習のよさを認識し、主体的に取り組むとともに、社会の中で積極的に学び続けていこうとする態度を養う。

学校図書館の目標

学校図書館の活動を通して、幅広く読書する意欲を育て、主体的に学び続けていくための資質や能力を育成する。

指導のねらい

・環境を整えて読書意欲を向上させ、読書の習慣化を図るとともに、多様な読書の仕方を身に付させる。
・読書を通じて、情報の収集の仕方や記録の取り方等の技能や、問題を発見して収集した情報を整理・分析して解決し、自分の考えをまとめ、表現するための思考力・判断力・表現力等を育成する。
・学年に応じた利用指導を系統的に行い、望ましい図書館活用の態度や技能を養う。

特色ある教育活動

＜各教科・領域との連携＞	＜読書科の推進＞	＜図書委員会活動の活性化＞
〇各教科・領域の導入で、児童の関心を高めるために図書館を活用する。 〇各教科・領域で必要な情報の収集及び課題の解決を図るために進んで図書館を活用する。	〇教育課程全体を通して、計画的な朝読書や読書活動を推進する。 〇各教科・領域の活動に学校図書館や地域図書館を活用して情報活用能力の育成や授業の充実を図る。 〇読書科ノートを適宜活用し、授業を展開させる。	〇本の貸し出しや図書館整備を行う。 〇委員会活動時間内に、ポスターやポップ作り、おすすめの本の紹介、月毎の貸し出し冊数調べなど、さまざまな読書推進活動を行う。 〇図書集会や読み聞かせなど、本好きの児童が増えるような活動を考え行う。
＜家庭・地域との連携＞	＜読書表現活動の充実＞	＜ICT 機器の活用＞
〇保護者による読み聞かせボランティアが、毎月１回程度、水曜日の朝読書の時間に読み聞かせを行う。 〇保護者による図書整備ボランティアが、毎月１・２回程度、水曜日の１・２時間目の時間に学校図書館にて活動を行う。活動内容は、本の修理・整理や館内の整備、季節に合わせたディスプレイの製作などである。	〇国語の教科書に掲載されている、「〇年生で読みたい本」を学年のおすすめの本として、図書館内に展示し紹介する。 〇蔵書管理台帳での蔵書管理を行い、読みたい本が見つかる学校図書館をつくる。 〇季節・学習におすすめの本コーナーを設置し、児童の選書の幅が広がるような展示をする。	〇パソコン室や各教室の ICT 機器を、学習の場面で有効かつ適切に活用し、児童が関心をもって活動したり、情報を収集し、知識を広げたりできるようにする。 〇学習に関する本と PC を並行して活用する。